

砂利採取業務主任者等研修会を開催しました



令和5年3月16日・17日

本会主催で、長野県より後援をいただいた令和4年度砂利採取業務主任者等研修会は、長野市の若里市民文化ホールと松本市の松筑建設会館の2会場で、会員事業所から約30名の参加により開催しました。

研修は、「砂利採取法の適正な運用」について、長野県建設部河川課担当係長の阿部仁志氏を講師にお願いし、砂利採取販売事業を行う上で最も基本となる砂利採取法の留意事項について講演をいただきました。



休憩をはさみ、協会の高野専務理事から「安全な現場環境を維持するための留意事項」として、特に労働安全対策については小冊子①工事現場のPDCA②ヒヤリ・ハットと現場の安全ポイント③めざそう熱中症ゼロ④救命・応急手当のキホン、が配布され、また、大型ダンプカーの過積載防止対策等法令遵守等についての説明がありました。



砂利採取業務主任者の業務は、従事企業において災害防止に関する監督的立場であり、企業の発展と災害防止の調整を図ることが期待されています。本研修会は、重要な役割を担う業務主任者の質的向上を目指して開催したもので、砂利採取業者の災害防止能力の確保・高揚を図るうえで有意義な内容となりました。